

全体会・
全体講演と

60の
分科会

2021年度 ときわ会 教育研究発表会

～あなたに合った内容や方法と一緒に研修してみませんか？～



日時：**2021.11.20 (土)** 12:00～受付

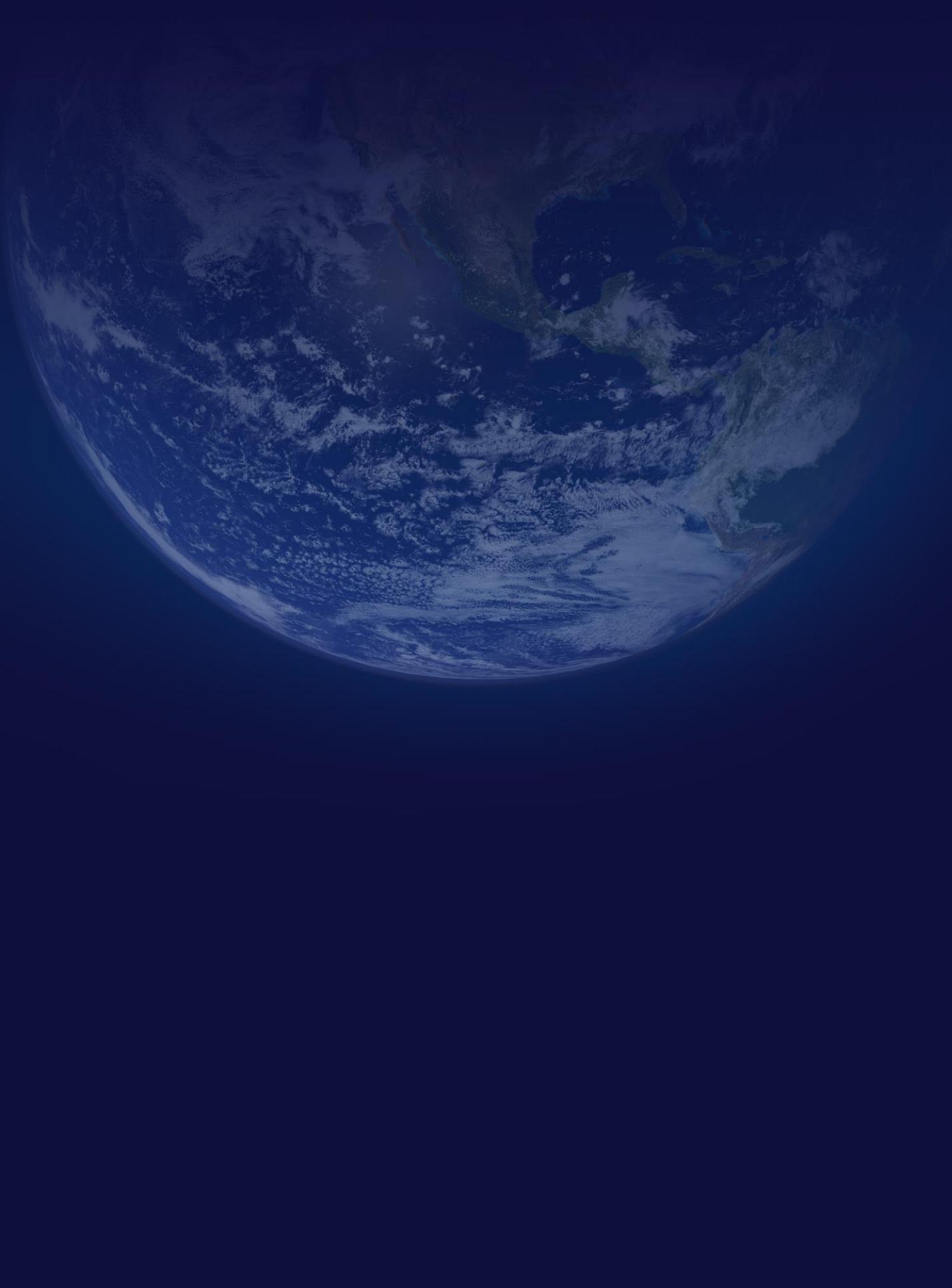
会場：対面参加の場合： 朱鷺メッセ

(新潟市中央区万代島6番1号 TEL.025-246-8400)

オンライン参加の場合：自宅等

申込締切日：10月23日 (土)

今年度は「対面参加」と「オンライン参加」を**選択**できます。



1. 当日の日程

	ハイブリッド型分科会に参加 する方 (朱鷺メッセでの対面参加, 又は自宅等でのオンライン 参加)	オンライン型分科会に参加 する方 (自宅等でのオンライン 参加)
12:00~12:30	受付 (朱鷺メッセ)	全体会・全体講演の入室 (Zoom)
12:30~12:50	全体会 ・開会の挨拶 吉田 隆 ときわ会会長 ・スーパーティーチャー認証式	朱鷺メッセ  zoom
12:50~13:40	全体講演 ・講師紹介 齋藤 純一 研修委員長 ・文部科学省 桐生 崇 様	朱鷺メッセ  zoom
14:05~15:15	ハイブリッド型分科会① 合計10部会 ※詳細は「2. ハイブリッド型分科会 のご案内」参照 朱鷺メッセ  zoom	オンライン型分科会① 合計20部会 ※詳細は「3. オンライン型分科会 のご案内」参照  zoom
15:40~16:50	ハイブリッド型分科会② 合計10部会 ※詳細は「2. ハイブリッド型分科会 のご案内」参照 朱鷺メッセ  zoom	オンライン型分科会② 合計20部会 ※詳細は「3. オンライン型分科会 のご案内」参照  zoom

全体講演



今、大きな注目をあびてる、教育現場でのデジタルトランスフォーメーション(DX)の第一人者!

講師 桐生 崇 (きりゅう たかし) 様

(文部科学省 大臣官房 文部科学戦略官
総合教育政策局 教育DX推進室長)

2019年4月文部科学省初等中等
教育局企画官・学びの先端技術
活用推進室長。
2021年4月より現職で教育DX,
教育データ標準化等の教育データ
の利活用の企画等を担当。

2. ハイブリッド型分科会のご案内



ハイブリッド型分科会①

14:05～15:15 (Zoom入室13:45～)

朱鷺メッセでの対面参加, 又は自宅等でのオンライン参加

右のQRコード又は
次のURLから申し込
んでください。

<https://forms.gle/M4CTpKq2xb1CtjUJA>

番号	発表者名	市町村・所属	発表テーマ	教科等・分野	発表部門
1	高野 茂和	柏崎・内郷小	英語で伝え合う力を伸ばす外国語指導 ～質問とリアクションを中心に据えたコミュニケーション活動の 充実を通して～	外国語	教育実践
2	星 雄馬	長岡・日越小	豊かな社会認識を獲得する子どもを目指した小学校 社会科授業の探究 ～生活科での学びを膨らませていく授業構成を手立てとして～	社会科	教育研究
3	目黒 洋次郎	長岡・下川西小	守備を起点にした攻撃の組立と学びの過程に関する研究 ～ネット型ゲーム連携プレイ型の実践～	体育科	教育実践
4	高野 龍之介	新潟・亀田小	小学校1年の繰り上がり・繰り下がりのある計算指導の改善 ～数の合成分解と10を利用した計算を視点として～	算数科	教育研究
5	山田 真大	村上・さんぽく小	視覚的に思考を整理するICT機器を用いた学習指導 ～小学校第3学年においてGoogle Workspace 「Jamboard」を使用することを通して～	情報	教育実践
6	渡邊 翼	三条・大崎学園	共感的人間関係を育むための一考察 ～毎日の連絡帳のやり取りを通して～	学級経 営・生徒 指導	教育実践
7	笠原 龍二	三条・旭小	納得解を追い求める話し合い活動 ～縦割り班遊びの実践を通して～	学級活 動	教育実践
8	五十嵐 健太	新潟・上所小	GIGAスクール構想推進のための取組 (研修体制, 家庭との 連携, 授業実践等)	GIGA スクール	教育実践
9	加藤 大祐	五泉・愛宕小	「知識及び技能の定着」と「思考力, 判断力, 表現力等の 育成」を関連付けた帯活動 ～Level-Up timeとSmall Talkを通して～	外国語	教育実践
10	佐藤 圭一郎	聖籠・亀代小	「パスをもらうために自ら動き, 攻撃する」児童の育成 ～学習課題に合わせた, 多様なチーム編成によるバスケット ボールの指導～	体育科	教育実践

注意: 「教育実践」は主に実践の共有, 「教育研究」は主に仮説の検証をねらった発表部門です。

ハイブリッド型分科会②

15:40～16:50 (Zoom入室15:20～)

朱鷺メッセでの対面参加, 又は自宅等でのオンライン参加

番号	発表者名	市町村・所属	発表テーマ	教科等・分野	発表部門
1	高橋 祐輔	新発田・住吉小	文章と図表などを結び付けて読む力を高める指導の工夫 ～読み方の獲得と活用とを繰り返す学習サイクルを用いて～	国語科	教育研究
2	本間 達彦	三条・嵐南小	児童の学び方に着目した外国語科学習の一考察	外国語	教育研究
3	中澤 啓介	新潟・東石山中	「メタ認知」を有効に機能させるための数学授業の研究 ～既知と未知との対比に着目して～	数学科	教育研究
4	間宮 智子	新潟・大形中	思考を深め, よりよく生きようとする生徒を育てる道徳授業 ～ゆさぶりをかける発問の工夫を通して～	道徳科	教育実践
5	櫻井 梢	新潟・上山中	ICTを活用した連続的なライティング指導	英語科	教育実践
6	神保 卓哉	三条・裏館小	ICTの活用 ～書くことの指導～	国語科	教育研究
7	藤田 和太	加茂・下条小	歴史に対する愛情を育てる社会科指導の工夫 ～地域教材の活用と地図作りを通して～	社会科	教育研究
8	曽根 秀峻	新潟・新津第五中	社会的事象を多面的・多角的に考察する見方・考え方を 育成する授業実践	社会科	教育実践
9	小林 治雄	新潟・結小	状況を判断して動く力を高めるゴール型ゲームの授業	体育科	教育実践
10	内田 隆志	新潟・白南中	中学校でのタブレット端末の活用	情報	教育実践

注意: 「教育実践」は主に実践の共有, 「教育研究」は主に仮説の検証をねらった発表部門です。

3. オンライン型分科会のご案内



オンライン型分科会①
14:05～15:15 (Zoom入室13:45～)
 自宅等でのオンライン参加

右のQRコード又は
 次のURLから申し込
 んでください。

<https://forms.gle/jHn3KSDNHBbEau3LA>

番号	発表者名	市町村・所属	発表テーマ	教科等・分野	発表部門
1	中沢 覚	上越・上越教育 大学教職大学院	集団心理教育を通じた良好な関係性形成 ～自尊感情と共同性を育成する実践研究～	生徒指導	教育研究
2	渡辺 みつ枝	新発田・第一中	自分との繋がりを見出しながら古典を読み深める生徒の 育成 ～作者の創作意図に着目させる働きかけを用いて～	国語科	教育実践
3	土田 侑人	湯沢・湯沢小	主体的・対話的に動きの高まりを目指す子どもの育成	体育科	教育実践
4	井熊 健一	南魚・城内小	医ケア児を受け入れる ～合理的配慮形成のプロセスとそれから～	特別支援 教育	教育実践
5	荒井 琢郎	長岡・宮内小	深い学びの実現を目指すICTを活用した授業づくり	算数科	教育実践
6	長束 貴英	上越・上越教育 大学教職大学院	科学的探究力育成のための見通しと振り返りを重視した 学習デザイン	理科	教育研究
7	岡本 世史治	出雲崎・出雲崎中	ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を 実現させるための実践研究 ～Google Apps Scriptによるデジタルワークシートを 用いて～	音楽科	教育実践
8	信賀 悠次	三条・本成寺中	相手意識をもちながら、自分の気持ちや考えを意欲的に 表現できる生徒の育成	英語科	教育実践
9	瀧田 徹	五泉・村松小	対話・協働しながら、自他を認め合える児童の育成	道徳科	教育研究
10	小黑 大介	五泉・村松小	考えに根拠をもち、表現する子の育成 ～図的表現と他の数学的な表現の関係付けに着目して～	算数科	教育研究

注意：「教育実践」は主に実践の共有、「教育研究」は主に仮説の検証をねらった発表部門です。

番号	発表者名	市町村・所属	発表テーマ	教科等・分野	発表部門
11	天井 滉野	胎内・胎内小	考えを伝え合い，認め合いながら読み深めることができる児童を目指して ～二者択一の課題を用いた物語指導～	国語科	教育研究
12	茂呂 祐亮	胎内・胎内小	自ら問題を見出し，見通しをもって追究する子どもの育成 ～要因を見出す場の設定と振り返りの活用を通して～	理科	教育研究
13	藤井 哲也	新潟・巻南小	地域素材を活用した授業づくり ～身近な地域の「人」「もの」に着目して～	社会科	教育研究
14	坂井 一	長岡・栃尾南小	自分の問いをもち，根拠をもって問題解決する子どもの育成	理科	教育実践
15	佐藤 正実	村上・村上中等教育学校	生徒が主体的に証明に取り組む指導の工夫 ～記号による証明を通して～	数学科	教育実践
16	太田 諒平	佐渡・両津小	読みの深まりを実感できる物語の授業づくり ～物語の「語り」を読ませる問いを取り入れ交流させることを通して～	国語科	教育研究
17	川村 哲也	佐渡・新穂小	児童が複数の社会的事象を結びつけ，社会的な見方・考え方を身に付けるための指導の工夫 ～観光教育を教科や単元を横断する視点として～	社会科	教育研究
18	池乗 節子	新潟・関屋小	主体的な学びを促すオンライン研修デザイン	授業研究	教育実践
19	河井 大輔	小千谷・小千谷中	笑顔が増える部活動経営	部活動	教育実践
20	羽二生 拓也	十日町・川西中	よりよい社会の実現を視野に，課題を主体的・協働的に解決しようとする生徒の育成	社会科	教育実践

注意：「教育実践」は主に実践の共有，「教育研究」は主に仮説の検証をねらった発表部門です。

オンライン型分科会②

15:40～16:50 (Zoom入室15:20～)

自宅等でのオンライン参加

番号	発表者名	市町村・所属	発表テーマ	教科等・分野	発表部門
1	相馬 雄	小千谷・小千谷小	既習や経験を関係付けて予想を立てる子の育成	理科	教育実践
2	金山 一太郎	魚沼・須原小	「考え、議論する道徳授業」への質的転換 ～問題意識を大切にし、対話を通して自己の納得解を見出すための手立ての工夫を通して～	道徳科	教育実践
3	若月 光	阿賀野・水原小	思考ツールの活用を通じた問う力の育成	社会科	教育研究
4	櫻井 諒	長岡・千手小	社会的事象の見方・考え方を鍛える授業の創造 ～帰納的思考と演繹的思考を組み合わせた追求過程の導入～	社会科	教育研究
5	清水 克朗	長岡・黒条小	自分を見つめ、未来に向かう児童を育む図画工作科指導 ～他教科と関連させた導入と終末の「ほめほめ鑑賞会」を通して～	図画工作科	教育実践
6	関川 悠一	長岡・南中	部活動にやりがいを感じ、主体的に活動に取り組む生徒の育成	部活動	教育実践
7	大矢 寿和	長岡・南中	読んだことを踏まえて、話す力を高める指導の工夫 ～見方・考え方を働かせた統合型授業の実践～	英語科	教育実践
8	石田 溪介	阿賀野・水原中	既習の学習内容を活用した生徒の思考力・判断力・表現力の育成 ～理科の見方・考え方を働かせるための学びの蓄積シートの活用～	理科	教育研究
9	池上 貴之	上越・春日中	主体的で深い学びの実現に向けた単元構想 ～単元末のゴールを明確にした「数と式」領域の実践～	数学科	教育実践
10	磯部 一樹	新発田・猿橋小	自他の経験や事情に基づいて道徳的価値をとらえ、行動を選択・決定できる児童の育成 ～自己を見つめる場の設定の工夫を通して～	道徳科	教育研究

注意：「教育実践」は主に実践の共有、「教育研究」は主に仮説の検証をねらった発表部門です。

番号	発表者名	市町村・所属	発表テーマ	教科等・分野	発表部門
11	倉町 宏治	村上・村上第一中	仮説を設定させる手立てが、「疑問」を科学的に解決可能な「問い」へと変換する力に与える効果についての実践的研究	理科	教育研究
12	高橋 恭平	佐渡・河崎小	見方・考え方を働かせながら問題解決に取り組む児童の育成～プログラミング的思考を活用した活動を通して～	理科	教育研究
13	小池 誠一	新潟・松浜小	子どもの理解深化を促す算数科授業の探究～アウトプット（「問題づくり」「説明書づくり」）の場の活用を通して～	算数科	教育研究
14	熊野 昌彦	新潟・葛塚東小	体育授業において、ロイロノートの動画提出機能の活用が、児童の知識・技能に与える影響	体育科	教育研究
15	加藤 雅晃	新潟・桃山小	学級全員が主体的に文学を楽しむ授業づくり～「正解探し」から「味わい深める学び」への切り替え～	国語科	教育研究
16	松川 知樹	新潟・東新潟中	歌唱と創作の一体化及びICTの活用	音楽科	教育研究
17	宝金 智	新潟・高志中等教育学校	規範意識の構築を支える視点の提示について	生徒指導	教育実践
18	村上 桂太	新潟・横越小	意欲的に外国語を話そうとする児童の育成～大単元の活用と思考ツールの工夫を通して～	外国語	教育実践
19	矢部 雄太	新潟・潟東小	俳句の学習における間接的な心情表現を用いた語彙力の向上	国語科	教育研究
20	大沼 達郎	新潟・漆山小	複数事例の比較から「どっちも同じ」に気付く単元構成の工夫～効果的なタブレット端末の活用を通して～	社会科	教育実践

注意：「教育実践」は主に実践の共有、「教育研究」は主に仮説の検証をねらった発表部門です。

6. 参加の仕方

申し込む

- ・「分科会のご案内」に載っているQRコード又はURLから申し込んでください。
- ・対面参加とオンライン参加による「ハイブリッド型分科会」と、オンライン参加のみによる「オンライン型分科会」の2種類があります。
- ・対面参加の人数には限りがあるので、各会場の最大人数をどうしても超えた場合、人数を調整させていただく場合があることをご承知おきください。
- ・複数の分科会を申し込むことができます。同じ時間に開催の分科会においては、その時間の中から1つの分科会を選択してください。
- ・締切日（10月23日（土））以降の対応はできませんのでご承知おきください。

受け取る

- ・担当幹事が、10月29日（金）に、対面参加かオンライン参加のどちらの形態で参加できるようになったかを参加者へメールで伝えます。また、感染拡大等の理由から、対面参加ができなくなった場合は、10月29日（金）までに参加者へメールで伝えます。
- ・担当幹事が、11月6日（土）に、「全体会、全体講演のZoomのID及びパスワード」「各分科会のZoomのID及びパスワード」「発表資料ダウンロード用のGoogleドライブのURL」「分科会アンケート用のGoogleフォームのURL」を参加者へメールで送ります。
- ・担当幹事が、11月12日（金）に、発表資料のデータをGoogleドライブにアップロードします。参加者は、教育研究発表会当日までに発表資料のデータを各自ダウンロードしておいてください。

- ・朱鷺メッセの駐車場に駐車した方には駐車券を当日お渡しします。
- ・「全体会，全体講演」にオンライン参加する方は，Zoomで参加してください。開始30分前から入室が可能です。その場合，「氏名と勤務校名」を入力し，「ビデオオフ，ミュート」で参加してください。
- ・「分科会」にオンライン参加する方は，Zoomで参加してください。各分科会の開始20分前から入室が可能です。その場合，「氏名と勤務校名」を入力し，参加者意識を高めるために，基本的には顔を出しての参加をお願いします。また，Zoomのチャット機能を使って，質問や意見を伝えることができます。
- ・「分科会」にオンライン参加する方は，軽装で，飲み物等の持ち込みもOKです。
- ・機器等のトラブルに関する問い合わせは，幹事の人数等の関係で対応できません。ご承知おきください。
- ・参加者は次の点を守ってください。ご協力の程，どうぞよろしくお願いいたします。
 - ★本研修会に参加するためのID及びパスワード，URLを，第三者へ伝えたり，SNS等へ投稿したりすることはできません。
 - ★研修会の様子は，個人情報保護の観点から保存・録音することはできません。

【問い合わせ先】

担当幹事 山田 耕世

(新潟大学附属新潟小学校)

電話 080-3484-1098



こんな時だから・・・，目の前の子どもたちのために，
あなたのニーズに合った発表内容や参加スタイルを **選択** して，
みんなで一緒に研修してみませんか？

